

2018年4月作成

貯法 室温保存

動物用医薬品

承認指令書番号

販売開始

21動薬第4099号

2011年12月

リンコサミド系抗菌剤 | 要指示医薬品 | 指定医薬品

Virbac

ビルデンタマイシン® 75

ビルデンタマイシン®75はリンコサミド系抗生物質のクリンダマイシン塩酸塩を有効成分としています。ブドウ球菌、嫌気性菌に対して抗菌活性を有します。

【成分及び分量】

本品1錠中、クリンダマイシン塩酸塩を75.0mg (力価)含有する。

【効能又は効果】

有効菌種:ブドウ球菌、ペプトストレプトコッカス、フソバクテリウム、バクテロイデス

適応症:犬:歯周病

【用法及び用量】

本剤は、1日12時間間隔で2回、1回体重1kgあたりクリンダマイシンとして5mg (力価)を5~10日間経口投与する。

犬:体重7.5kgあたり本品1/2錠を12時間ごとに経口投与する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的な注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・使用済みの空容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(犬に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・投与開始後はブラッシング等歯肉縁上のプラークコントロールを行うことが望ましい。

(専門的事項)**① 対象動物の使用制限等**

- ・本剤は、犬以外の動物には使用しないこと。
- ・本剤は、過敏症を起こしたことのある犬には投与しないこと。
- ・本剤の使用により、まれにフロストリジウム属などの非感受性菌が異常増殖することがあるので、フリンダマイシンの消化管への作用に過敏な犬には本剤の投与を避けること。
- ・本剤は、幼若及び病中、回復期の犬、妊娠中並びに産前・産後の犬に投与しないこと。
- ・重度の代謝異常を伴って、腎障害及び肝障害を認める犬には慎重に投与し、治療中における血中のフリンダマイシン量を検査すること。

② 重要な基本的注意

- ・本剤の使用に当たっては、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。

③ 副作用

- ・本剤は、まれに過敏症反応を起こすことがあるので、観察を十分に行い、症状が現れた場合は投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- ・本剤の投与により、食欲不振、嘔吐、軟便、下痢及び発疹を認めることがある。

④ 相互作用

- ・本剤は、神経筋接合部遮断薬の作用を増強するので、併用を避けること。
- ・フリンダマイシンとクロラムフェニコール又はマクロライド系は50Sリボソームサブユニットの作用部位において互いに拮抗するので、併用を避けること。

⑤ その他の注意

- ・本剤の投与前に外科的治療法を行うことにより、治療効果が高まることが確認されている。

【製品情報お問い合わせ先】

株式会社ビルバックジャパン

〒541-0047 大阪市中央区淡路町1-3-14

TEL 06 (6203) 3148

【使用期限】 外箱に記載**【包装】** 50錠入(10錠×5シート)**製造:**

VIRBAC S.A. (ビルバック社 フランス)

製造販売業者:

株式会社ビルバックジャパン

大阪市中央区淡路町1-3-14

TEL 06 (6203) 3148

獣医師、薬剤師等の医療関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iya/kutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。